

提案事項一覧(22期/前期)

	提案会派等	分類	提案事項	提案理由	具体的な手法
1	正副委員長	出前講座	出前講座の継続	市議会について、高校生に関心を持ってもらうため。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年実施した東葉高校は2023年秋に実施する方向で具体的に協議に入る。 2. 東葉高校とほぼ同内容で、市内高校で「任意(自由)参加型」出前講座の希望があれば2023年度から実施する。その可能性を2023年7月以降、各高校に打診する。 3. 授業の一環(主権者教育・公共)などで実施する場合は、2023年度中に案を煮詰め、2024年度からの実施を目指す。一度打診した市立船橋高校を含め、市内高校に2023年7月以降、各高校に打診する。 4. 市内高校以外に高校生相当年齢の教育機関も要望があれば検討する。
2	正副委員長	議会ポスター	議会ポスターの掲示場所及びデザインの検討	市議会について、市民に広く知ってもらうため。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当面、現状(無料のみ掲示)を維持する。 2. 2025年第1回定例会(3月議会※予算議会)は有料で市内全駅に掲示する。 3. デザインなどについては、当面、広報委員会で検討する。
3	市民民主連合	出前講座	出前講座の大学への対象拡大	小中高議会見学会・意見交換会については一定の定着を見ているが、大学生へのアプローチは無い。今後、大学生へも対象を拡大し、若い皆さんと議会・地方自治との相互理解を進める広報広聴活動に資するものとするため。	船橋市が連携協定を結んでいる、千葉大・東邦大・千葉工大などと協議・ニーズを聞き取りの上で、これまで行ってきた出前講座の形を参考に進めていくもの。
4	公明党	出前講座	市内高校への出前講座の更なる推進	昨年度から開催できた高校(東葉高校)への出前講座は市議会への関心を持つ人の裾野を広げる等の為の大きな一歩だったと感じている。 【来てもらう事業】として、『こども議会見学会』がコロナ禍でも途切れることなく開催でき定着していることは、船橋市議会にとって財産だと思う。今後は【出向いていく事業】としての『高校への出前講座』を市議会の財産として発展、定着させるための議論がされることを望み、提案する。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の開催の検証、改善点の洗い出し(東葉高校にも聞き取り) ・出前講座のパッケージをよりブラッシュアップする為の提案、議論 ・高校の選定、申し入れ (昨年好評だった東葉高校や昨年開催が見送られた市立船橋高校等)

	提案会派等	分類	提案事項	提案理由	具体的な手法
5	飛翔	出前講座	出前講座の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・船橋市議会として、高校生に対し、より積極的に広報・広聴を行うため。 ・身近な政治の場である市議会について関心をもってもらうため。 ・前回好評であったため。 	今までと同じ手法
6	市政会	市議会だより	「各委員会の報告」ページの改善	「各委員会の報告」ページは、文字のみであり、内容が難しいことから一見して読むのをためらわせると感じる。視覚的に読んでみようと思わせる工夫が必要である。	各委員会の報告のうち、賛成・反対の討論の頭に発言者の顔写真を掲載してはどうか。発言者の顔が見えることで、内容への興味関心を喚起することができる。なお、記載が複雑になることを避けるため、掲載は顔写真のみとし、氏名や会派名は割愛する。また、顔写真の写真的サイズについては、一般質問欄に使用しているものと同サイズもしくはより小さいものとする。